

6月議会 一般質問

11日に開会した6月議会で日本共産党の立花議員は、高齢者に優しい市政、デジタル改革と市民生活、指定ごみ袋の導入について質問。岸本議員は、コロナ禍での対策の具体化について質問しました。

立花議員 高齢者に優しい市政を

はり・きゆう・マッサージ施設の一部助成を

昭和56年から平成26年まで実施されていたのに中止した理由を質し復活を求めました。

公共交通敬老パスを

実施しない理由を尋ねたのに対し市は「かこバスの料金は低額、神姫バスの市内上限を200円にしたので敬老パスは導入する計画はない」と答弁。



一般質問をする立花議員

ミニかこバス平岡東ルート料 金200円の見直しを

求めたのに対して「距離に応じた妥当なもの」と答えました。

立花議員は、明石市や宝塚市の例をあげ、127億円もの貯金(基金)を、地方自治法第1条にも書かれているように地域の福祉増進に使うべきではないかと迫りました。

デジタル改革とスマートシティ

市民の日常生活への影響を質問。税金や保険料などをクレジットカード決済した場合の手数料は利用者の負担、住民票や各種証明書の発行手数料は市の負担と答弁。国のデジタル改革で市の保護条

励ましの手振りです。

心強い 励ましの手振り

訴えていると寄ってきてお声がけいただける人。道路の補修、安全対策、公園の清掃、市会議員は何でも屋！。その都度市役所の担当窓口を尋ねます。解決できればいいのですが、解決できないことも多々あります。それでも、「友達や両親から最後は日本共産党を尋ねろと聞いている」といって来られる方が後を絶ちません。その言葉に励まされて後援会のみなさんと飛び歩きます。

飛び歩記

立花俊治



例が一元化され、個人情報民間に活用される。個人情報保護を強く求めました。

ワクチン接種予約システム

混乱を指摘したのに対し、市は「予想を上回るアクセス」を認めましたが、システムの責任は問えないと答えました。



岸本議員

市民の命とくらしを守る コロナ対策を

① ワクチン接種

抽選方式に変更され、会場も追加されているが全年代の完了は9月末となっている。

★市役所等公共施設や保育所・こども園・小中学校の職員、若年層への接種の計画について質問。市は、高齢者の次にクラスター発生リスクのある施設を優先的に

ないと答えました。

指定ごみ袋で地元負担発生

「約100か所のゴミステーションで違反があった。今後は、相談があれば個別に対処するが、啓発にも努める」との回答がありました。

接種する予定。12〜16歳については、他自治体や国の動向をみて慎重に進めていくと回答。

★21日から予定している個別接種は、70の医療機関で、準備ができた所から接種を始める。

② 経済対策

クーポン券の配布、水道料金引き下げなど市の取り組みと展望に

7/1 告示 7/18 投票 県知事選



元県議員 金田峰生

5月20日、金田さんは「憲法県政の会」と共に記者会見を開き、「4つの柱」の県知事選の政策を発表しました。(詳しくは、同封のチラシをお読みください)

1965年神戸市生まれ。加古川北高校、日本福祉大学卒。兵庫県保険医療協会主任、99年から1期兵庫県議員。

野党4党 内閣不信任案を提出

日本共産党、立憲民主党、国民民主党、社民党の野党4党は15日、国会の3カ月延長の求めを拒否した菅内閣に内閣不信任案を提出。コロナ禍で困っている人がたくさんいるのに国会の役目を果たさずとしない菅政権に対し、総選挙できびしい審判を下しましょう。

オリミツの仕事を

党首討論で志位委員長

6月9日、菅政権で初めての党首討論が行われました。

日本共産党の志位委員長は、コロナ危機のもとでの五輪開催について発言。国内での人流が増え、感染リスクを低減できてもゼロにはできないとの声が上がっていることを示し、「命をリスクにさらしてまでオリンピックを開催しなければならぬ理由は何か」と迫りました。

菅首相は「国民の命と安全を守るの这是我的責務だ」というだけで開催の理由を説明できませんでした。国民の命に関わる重大問題について語る言葉を持たない首相の無責任さがいっそう際立ちました。

岸本議員は、ワクチン接種は自宅から出られない人への対応、希望する人残さず一日も早く実施すること。市民全員のPCR検査を基金を活用して実施すること。また、自粛要請で大変な中小企業、個人事業者、労働者に対し十分な補償と生活支援を要望しました。

市は、昨年は2回のポイント還元事業で20億円の経済効果があった、今年度もキャッシュレス決済を活用した支援を予定している。水道料金の値下げは予定していないが、支援策として検討していくと回答。